

第5次 荏田町総合計画

後期基本計画 令和8(2026)～令和12(2030)年度

概要版

「一人ひとり」が輝く
「もっと」快適
住みやすいまち 荏田



✓ 計画策定の趣旨

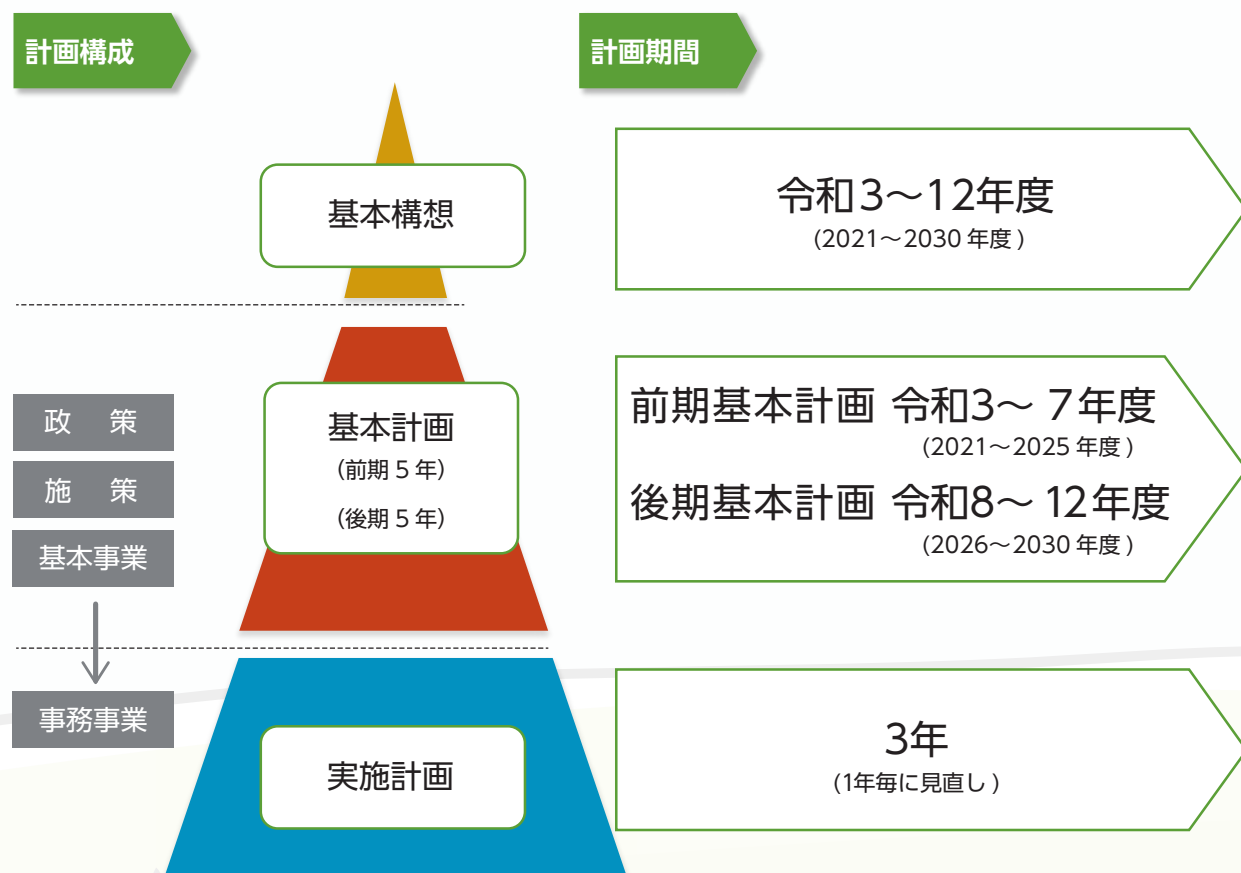
総合計画は、地方公共団体において、さまざまな施策を総合的かつ計画的に行うためのまちづくりの基本的な指針であり、行政運営の最上位計画です。

法的な策定義務はなくなりましたが、本町では、下記の必要性を踏まえ、総合的かつ計画的な行政経営を推進するために総合計画を策定します。

- 未来を見据え、中長期的な視野に立ち、計画的な行政経営を推進するためには、まちづくりの指針・基点・起点となる中長期的な計画の策定が必要となるため。
- Plan（計画）－ Do（実施）－ Check（評価）－ Act（改善）に基づくマネジメント（行政経営）の推進を行う本町にあっては、全庁的に設定された政策施策の Plan（計画）が必要となるため。
- まちづくりの目指すべき姿及びその達成度について、町民への説明責任を果たすために、「町民にわかりやすい計画」の策定が必要となり、その達成度を報告することが求められるため。

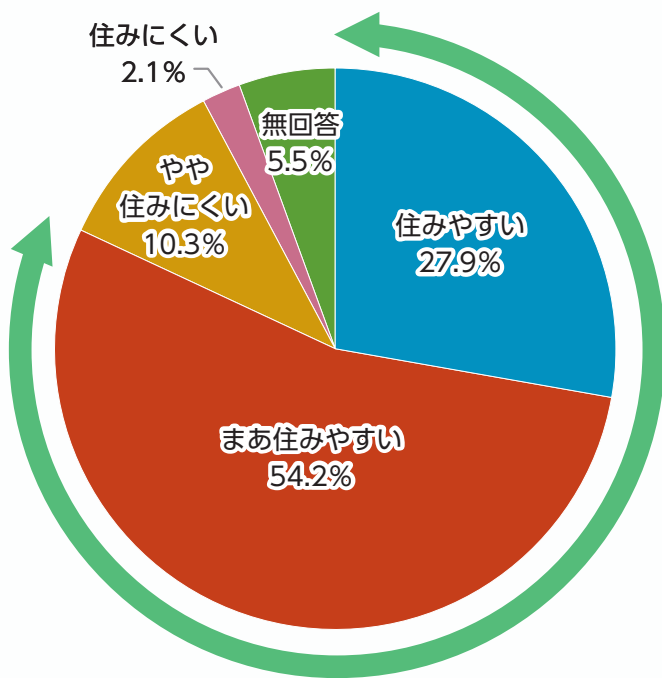
✓ 計画の構成と期間

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3つの計画で構成します。



 荻田町での暮らし

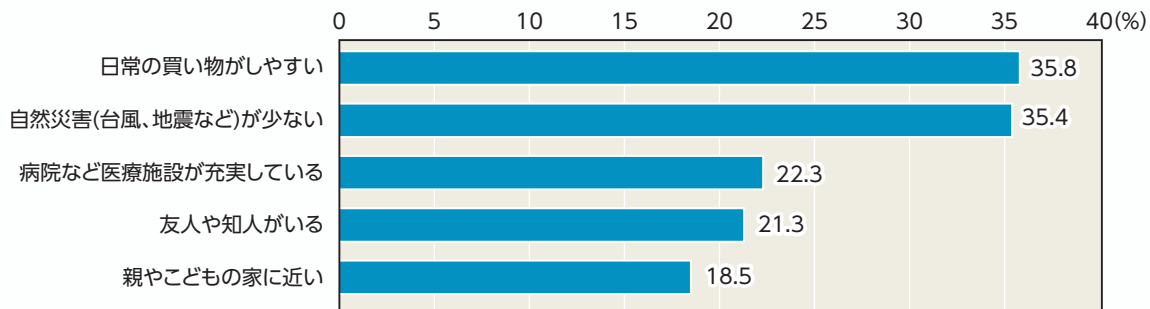
「荻田町」は住みやすいまちか



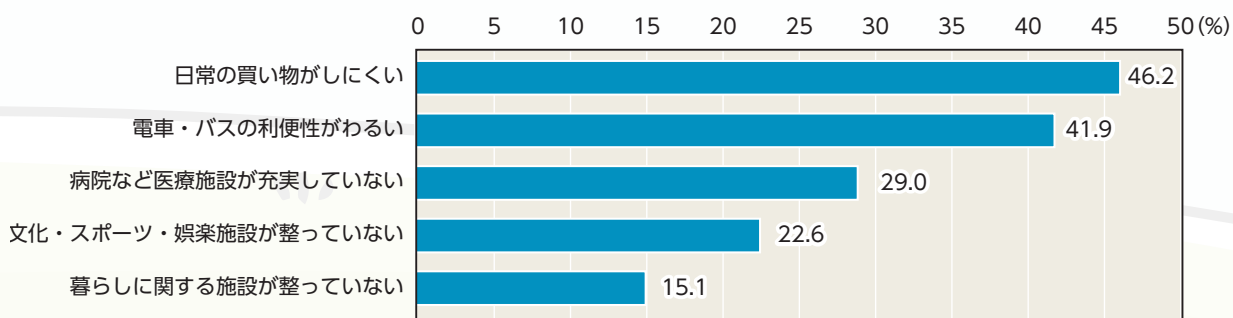
住民の **82.1%** が
住みやすいと回答



「荻田町が住みやすい」と感じる理由（上位5位、複数回答）



「荻田町が住みにくい」と感じる理由（上位5位、複数回答）



✓ 基本構想

基本構想は、本町のまちづくりの普遍的な方向性と理念を示すものです。このため、本町の地勢や環境、これまでのまちづくりの経過を踏まえたうえで、「まちづくりの基本理念」を定め、その内容を包含した「将来都市像」を設定します。

1 まちづくりの基本理念

第5次荻田町総合計画の計画期間である10年間の「まちづくりの基本理念」として、次の3つを定めます。

- (1) 産業都市としての発展を基軸としながらも、先人から受け継いだ貴重な歴史、伝統・文化、自然などを継承し、誰もが安心して、心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。
- (2) 多様な課題に対応するため、みんなで力を合わせて、次世代にも継承していける持続可能なまちづくりを進めます。
- (3) 「荻田らしさ」を創造し、荻田町に関わる様々な主体にとって、魅力があり住みやすく感じられるまちづくりを進めます。

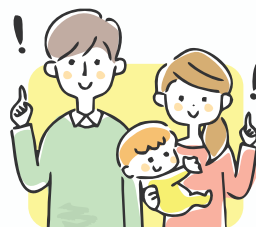
2 将来都市像

町民の8割が住みやすさを実感しており、現状でも一定程度「住みやすいまち」といえるところであるため、その点を町外の方に向けてアピールして転入促進を狙うとともに、「もっと快適」「もっと住みやすいまち」になることを目指します。

そうすることで、町、住民、企業、学生、障がいのある人、高齢者、外国人、各団体など、本町に関わる「一人ひとり」が個性を活かし、元気・健康・いきいきとした「輝く」存在となることを目的として、「将来都市像」を定めます。

**「一人ひとり」が輝く
「もっと」快適 住みやすいまち 荻田**

第5次苅田町総合計画期間である10年間の行政需要を予測し、行政経営の指針として活用することを目的に以下のとおり推計します。



人口推計にあたって考慮すべき事項とそれを踏まえた人口推計の考え方

北九州空港開港以降、工業団地での企業誘致や業容拡大により、平成22年～平成31年で雇用者数が大幅に増加し、苅田町の人口増加に大きく貢献しました。

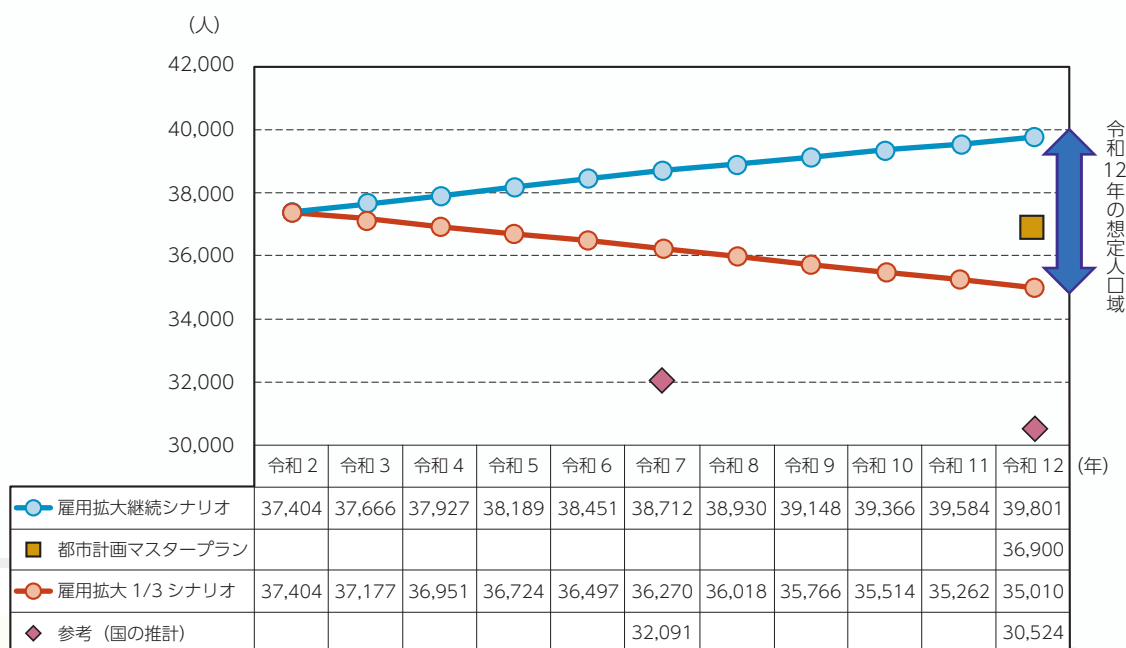
しかし、令和3年以降の町内の自動車関連産業の雇用拡大を、平成22年～平成31年のペースを前提にすることは、経営としては楽観すぎる可能性があります。

そこで、「令和3年以降も過去10年のような製造業の雇用拡大が続くシナリオ」と「令和3年以降は製造業の雇用拡大が過去10年間の1/3となるシナリオ」の間での人口推移を想定したまちづくりを進めていきます。

令和12年の人口推計

35,010～39,801人 を想定

(国が平成30年に推計した本町の令和12年人口は、30,524人)



雇用拡大継続シナリオ・・・製造業の雇用拡大数を、過去10年間と同程度として推計

雇用拡大1/3シナリオ・・・製造業の雇用拡大数を、過去10年間の1/3として推計

政策体系図



将来都市像

政 策

施 策

「一人ひとりが輝く」「もっと」快適 住みやすいまち 刈田

1 未来を拓く人づくり

- 1 学校教育の充実
- 2 生涯学習の充実と文化の振興
- 3 人権尊重・男女共同参画社会の形成

2 活力ある産業のまちづくり

- 1 農林水産業の振興
- 2 工業の振興
- 3 商業・観光の振興

3 だれもが元気で健やかに暮らせるまちづくり

- 1 こども・子育て支援の充実
- 2 高齢者福祉の充実
- 3 障がい福祉の充実
- 4 地域福祉の充実
- 5 健康づくりの推進

4 安全で暮らしやすい環境があるまちづくり

- 1 くらしの安全の確保
- 2 自然環境・生活環境の保全
- 3 循環型社会の形成
- 4 地域活動・町民活動の推進
- 5 防災・減災対策の推進
- 6 消防・救急・救助対策の推進



5 快適な都市機能があるまちづくり

- 1 道路・橋梁の整備と保全
- 2 持続可能な市街地の形成
- 3 水道水の安定供給と污水处理の推進

6 持続可能なまちづくり

- 1 持続可能な行政運営の推進
- 2 健全な財政運営の推進
- 3 人材育成と組織体制の充実

✓ 後期基本計画

政策 1 未来を拓く人づくり

施策 1-1 学校教育の充実



目指す姿

こどもたちが確かな学力とたくましい心身を育み、学校で楽しく学んでいます。

指標

学級内に自分の居場所があり、学校生活を意欲的に送っている児童の割合

現状

67.3%
(R6)

目標

67.5%
(R12)

指標

学級内に自分の居場所があり、学校生活を意欲的に送っている生徒の割合

現状

62.7%
(R6)

目標

65.0%
(R12)

基本事業

- ① 確かな学力の向上とたくましい心身の育成
- ② ICT活用教育による学びの質の向上
- ③ 教育環境の整備
- ④ 学校・家庭・地域の連携と協働
- ⑤ 多様性を踏まえた教育の実践

施策 1-2 生涯学習の充実と文化の振興



目指す姿

こどもから高齢者までが、生涯を通じて学習し、芸術・文化やスポーツ活動に取り組んでいます。

指標

生涯学習をしている町民の割合

現状

29.4%
(R7)

目標

33.0%
(R12)

指標

週1日以上、スポーツや運動をしている町民の割合

現状

37.7%
(R6)

目標

40.0%
(R12)

基本事業

- ① 学習機会の充実
- ② 生涯スポーツの推進
- ③ 図書館サービスの充実
- ④ 文化財の保存と活用

施策 1-3 人権尊重・男女共同参画社会の形成



目指す姿

誰もが基本的人権が守られ、お互いに認め合い、一人ひとりの人権が尊重されています。男女平等の意識が育まれ、様々な分野に男女が共同して参画しています。

指標

人権が尊重されている町であると思う町民の割合

現状

74.4%
(R6)

目標

76.2%
(R12)

指標

社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思う町民の割合

現状

17.9%
(R6)

目標

20.4%
(R12)

基本事業

- ① 人権教育・人権啓発の推進
- ② 人権擁護の推進
- ③ 男女共同参画の推進

施策 2-1 農林水産業の振興



目指す姿

苅田らしい持続可能な農林水産業の確立を目指し、いきいきと取り組んでいます。

基本事業

- ① 多様な担い手で支える営農体制の確立
- ② 農業基盤の整備・保全
- ③ 森林の維持
- ④ 漁業経営の安定化

指標	現状	目標
担い手農家・農業生産法人に集積されている農地面積割合	23.6% (R6)	30.0% (R12)
指標	現状	目標
1経営体当たりの漁業生産額	1,432千円 (R6)	1,500千円 (R12)

施策 2-2 工業の振興



目指す姿

陸・海・空のアクセスに恵まれた立地環境のもと、製造業を中心とした臨海工業都市として、発展を続けています。

基本事業

- ① 立地及び事業環境の整備
- ② 企業立地の促進
- ③ 事業所の総合的な支援

指標	現状	目標
製造業従業者数	15,504人 (R6)	18,504人 (R12)
指標	現状	目標
製造品出荷額等	24,697億円 (R6)	33,697億円 (R12)
指標	現状	目標
苅田港貿易額	14,900億円 (R6)	18,000億円 (R12)
指標	現状	目標
北九州空港貿易額	1,499億円 (R6)	1,720億円 (R12)



目指す姿

町内の商店や観光資源が町内外の人に十分に認知され、町内を散策し、買い物や観光を楽しむ人が増加し、町に賑わいが生まれています。

指標

日常の買い物を町内でしている町民の割合

現状

81.7%
(R7)

目標

85.0%
(R12)

指標

町内の地域資源を訪れたことのある町民の割合

現状

25.2%
(R6)

目標

30.0%
(R12)

指標

年間観光入込客数

現状

271千人
(R6)

目標

330千人
(R12)

基本事業

- ① 商業の活性化
- ② 町内の観光資源による愛着づくりとにぎわい創出



政策 3 だれもが元気で健やかに暮らせるまちづくり

施策 3-1 こども・子育て支援の充実



目指す姿

安心して子育てができる環境が整っています。

指標

安心して子育てができる環境が整っていると思う中学生以下のこどもを持つ保護者の割合

現状

79.2%
(R6)

目標

80.0%
(R12)

指標

この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者割合

現状

94.9%
(R6)

目標

95.0%
(R12)

基本事業

- ① 子育て不安の軽減 ② 保育サービスの充実 ③ 放課後の居場所づくり（児童） ④ 母子保健の推進
⑤ 児童発達の支援 ⑥ こどもの人権尊重

施策 3-2 高齢者福祉の充実



目指す姿

高齢者が生きがいを持ち、健康を保ちながら、住み慣れた地域でその人らしく暮らしています。

指標

自立高齢者の割合

現状

82.4%
(R6)

目標

82.4%
(R12)

指標

介護保険認定者のうち在宅生活している高齢者の割合

現状

86.0%
(R6)

目標

89.0%
(R12)

基本事業

- ① 介護予防・社会参加の推進 ② 日常生活支援の充実 ③ 地域ぐるみの認知症対策の推進
④ 介護保険サービスの適正運営 ⑤ 高齢者の人権尊重

施策 3-3 障がい福祉の充実



目指す姿

障がいのある人とその家族が安心して生活し、社会参加できています。

指標

障がいのある人のうち、在宅で生活している人の割合

現状

92.1%
(R6)

目標

—

指標

障がい福祉サービスの実利用者数の合計

現状

1,058人
(R6)

目標

1,058人
(R12)

基本事業

- ① 自立支援の推進 ② 地域生活支援の推進 ③ 障がい者の人権尊重

施策

3-4 地域福祉の充実



目指す姿

地域で助け合う仕組みがあり、機能しています。

指標

地域で互いに助け合っていると思う町民の割合

現状

51.8%
(R6)

目標

55.6%
(R12)

基本事業

- ① 住民同士の支え合いの促進 ② 相談体制の充実 ③ 町営住宅の整備

施策

3-5 健康づくりの推進



目指す姿

町民が心身ともに健康な生活を送っています。

指標

15歳～64歳の事故を除く死亡者数
(10万人当たり)

現状

158.3人
(R6)

目標

150.0人
(R12)

指標

生活習慣病死亡率

現状

46.2%
(R6)

目標

44.0%
(R12)

基本事業

- ① 生活習慣の改善 ② 早期発見・早期治療の推進 ③ こころの健康づくり ④ 地域医療体制の充実



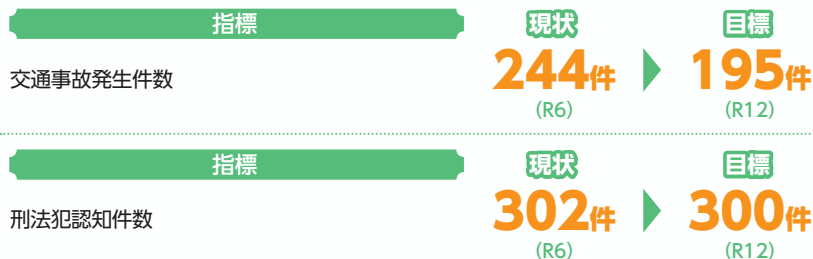
政策 4 安全で暮らしやすい環境があるまちづくり

施策 4-1 暮らしの安全の確保



目指す姿

交通事故や犯罪、
消費者トラブルが少なく
なっています。



基本事業

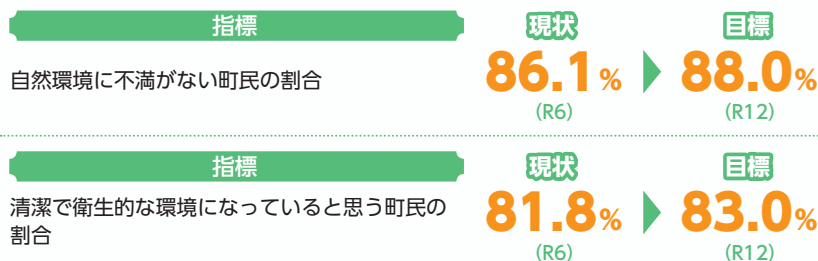
- ① 交通安全対策の推進 ② 防犯対策の推進 ③ 青少年犯罪の抑制 ④ 消費生活の安全

施策 4-2 自然環境・生活環境の保全



目指す姿

町民や企業による
自然環境保護に関する
取組や地球に負荷を
与えない暮らしが定着し、
自然環境が保全されています。



基本事業

- ① 自然環境の保全 ② 生活衛生・公害の防止 ③ 再生可能エネルギーの利用

施策 4-3 循環型社会の形成



目指す姿

ごみ処理に係る環境負荷が
減り、環境にやさしい町に
なっています。



基本事業

- ① ごみの排出抑制の推進 ② リサイクルの推進 ③ ごみの適正な処理

施策 4-4 地域活動・町民活動の推進



目指す姿

地域活動やNPO・ボランティア団体等の活動、地域間交流が活発に行われ、町民による自主的なまちづくりが推進されています。

指標

自治会活動が活発に行われていると思う町民の割合

現状

50.9%
(R6)

目標

57.0%
(R12)

指標

ボランティア・NPO活動に参加している町民の割合

現状

6.3%
(R6)

目標

8.0%
(R12)

基本事業

- ① 自治会活動の活性化
- ② 町民活動の活性化
- ③ 産学官連携の推進
- ④ 国際化・多文化共生の基盤づくり

施策 4-5 防災・減災対策の推進



目指す姿

災害への対応力が高まり、災害時の被害が最小限に食い止められています。

指標

自然災害による被災世帯・事業所数
(後期計画期間累計)

現状

0件
(R3～R6の累計)

目標

0件
(R8～R12の累計)

基本事業

- ① 防災意識の高揚
- ② 地域防災力の向上
- ③ 防災・災害情報の提供
- ④ 災害時支援力・対応力の向上
- ⑤ 浸水対策の推進
- ⑥ 津波対策の推進

施策 4-6 消防・救急・救助対策の推進



目指す姿

防火及び救命への対応力が高まり、被害が最小限に食い止められ、安全に暮らすことができます。

指標

人口1万人当たりの火災件数

現状

4.5件
(R6)

目標

2.9件
(R12)

指標

心肺機能停止患者の生存率

現状

12.0%
(R6)

目標

14.9%
(R12)

基本事業

- ① 防火意識の高揚と予防対策の推進
- ② 消防団活動の充実
- ③ 救急救命体制の整備
- ④ 資機材等の適正な維持管理

政策 5 快適な都市機能があるまちづくり

施策 5-1 道路・橋梁の整備と保全



目指す姿

道路・橋梁の適正な整備と維持管理によって、安全に移動できる環境が整っています。

指標
幹線道路に不満がない町民の割合

現状 76.9% (R2~R6の平均) 目標 79.2% (R12)

指標
生活道路に不満がない町民の割合

現状 76.1% (R6) 目標 76.1% (R12)

基本事業

- ① 道路の整備促進 ② 道路・橋梁の適切な維持管理

施策 5-2 持続可能な市街地の形成



目指す姿

暮らしに必要な都市機能が集約され、公共交通網を基軸として、安全性、快適性に優れた住環境が形成されています。

指標
住環境に不満がない町民の割合

現状 68.1% (R6) 目標 68.6% (R12)

指標
市街化区域内人口割合

現状 92.2% (R6) 目標 92.6% (R12)

基本事業

- ① 地域の特性を踏まえた適切な土地利用の推進 ② 駅周辺の整備 ③ 公共交通の利便性向上
④ 魅力ある景観の保全・創出 ⑤ 公園・緑地の整備と管理 ⑥ 住宅の適正管理と有効活用

施策 5-3 水道水の安定供給と污水处理の推進



目指す姿

水道水の安定供給と污水处理が適切にされることで、公共水域の水質が保全され、水資源が有効活用されています。

指標
水道水供給事故件数
(100世帯以上に影響したもの)(後期計画期間累計)

現状 0件 (R3~R6の累計) 目標 0件 (R8~R12の累計)

指標
污水处理人口普及率

現状 94.0% (R6) 目標 95.2% (R12)

基本事業

- ① 安全で災害に強い水道の供給 ② 下水道の整備と管理 ③ 合併処理浄化槽による污水处理の推進
④ 健全な上下水道経営の推進

政策 6 持続可能なまちづくり

施策 6-1 持続可能な行政運営の推進



目指す姿

効果的・効率的に行政運営が行われることで、行政サービスが向上しています。

指標
施策成果指標の目標達成割合

現状

—

目標

100%
(R12)

基本事業

- ① 成果志向の行政運営 ② 広報・広聴の推進 ③ デジタル行政の推進と情報システムの適正管理
④ 個人情報保護と公開 ⑤ 広域行政の推進 ⑥ 確実な事務執行と窓口処理 ⑦ 人口減少対策の推進

施策 6-2 健全な財政運営の推進



目指す姿

計画的な財政運営が行われ、健全な財政状況を維持しています。

指標

実質赤字比率

現状

—

(R6)

目標

—

(R12)

指標

連結赤字比率

現状

—

(R6)

目標

—

(R12)

指標

実質公債費比率

現状

9.4%

(R6)

目標

13.0%

(R12) ※

指標

将来負担比率

現状

7.2%

(R6)

目標

95.0%

(R12) ※

基本事業

- ① 歳入の確保 ② 歳出の適正管理 ③ 公共施設マネジメントの推進 ④ 適正な会計処理

※ 本来下がると良い指標ですが、今後の大型事業に伴う歳出の増加を考慮して、基準値よりも上がる目標としています。

施策 6-3 人材育成と組織体制の充実



目指す姿

職員の資質向上が図られるとともに、機能的な組織体制が構築され、行政サービスが向上しています。

指標

組織・職員の抱える問題・行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員の割合

現状

59.2%

(R6)

目標

70.0%

(R12)

基本事業

- ① 人材育成の充実 ② 効果的な組織づくりと人員の充実 ③ 健康で安心して働ける職場づくり

**第5次 苅田町総合計画
後期基本計画**
- 概要版 -

発行：福岡県 苅田町

発行年月：令和8年3月

〒800-0392 福岡県京都郡苅田町富久町1丁目19番地1

電話：093-434-1111（代表） FAX：093-436-3014

<https://www.town.kanda.lg.jp/>